

# 定例教育委員会会議録

(平成28年12月6日開催)

岡谷市教育委員会

# 定例教育委員会

日 時 平成28年12月6日(火)  
午後 2時00分  
場 所 301AB会議室  
署名委員 草間職務代理人、橋爪委員

## 【次 第】

○ 開 会

○ 教育長報告

○ 議 題

○ 報 告

1. 成人式について【資料No.1】

(生涯学習課)

○ その 他

・行事等について(各課)

・その他

【次回開催予定】 1月6日(金) 定例教育委員会 15時00分 2階 202会議室

## 席委員

教育長 岩本 博行、職務代理人 草間 吉幸、教育委員 橋爪 園美、教育委員 太田 博久、  
教育委員 高木 千奈美

## 事務局(説明員)

教育部長 吉澤 洋人、教育部教育担当参事 橋爪 哲也、教育総務課長 帯川 豊博、  
生涯学習課長 小坂 英之、スポーツ振興課長 小松 厚、冬季国体推進室長 小口 智行  
教育総務課統括主幹 山田 勝由紀、教育総務課主幹 高橋 卓、教育総務課主査 保科 圭吾

## <会議録>

### ○開 会

岩本教育長： 比較的穏やかな師走を迎えており、各学校では、おかげさまで子ども達が元気に生活をしておりまして2学期のまとめに力を注いでおります。それでは、只今より定例教育委員会を始めさせていただきます。本日の署名委員は草間職務代理者さんと橋爪委員さんをお願いいたします。

最初に私から教育長報告をさせていただきます。

### ○教育長報告

今日は、私から2点報告をさせていただきます。

#### 1. OEEの取組みについて

1点目は、11月15日から22日にかけて行われました小中の連携を深めるOEEの取組みについてです。今回は中学校の先生が小学校へ出かけ、主として6年生の授業を参観し、「学力向上」や「中学校進学を意識した授業づくり」を観点に意見交換『熟議』を行いました。市内7つの小学校の子ども達の真剣に学ぶ姿や工夫を凝らした授業内容を参観した中学の先生からは「大変参考になり、自分を振り返るよい機会になった」、「子ども達に目の輝きがあり、主体的な学びの姿勢が素晴らしかった」などの感想が出されました。小中一緒になって、子どもを理解するとともに、学力保障と成長保障が実現できる授業づくりのあり方を学ぶOEEは大変効果があると考えております。今後も校長会と連携しながらOEEの更なる充実を目指したいと思っております。

#### 2. 岡谷市いじめ根絶子ども会議について

2点目は、すでに案内をしてありますが、来週の17日（土）13時より諏訪湖ハイツにおきまして岡谷市いじめ根絶子ども会議が開催されます。今年度は岡谷東部中学校の生徒が中心となって子ども会議の運営を担当し、「いじめから目をそらさず、立ち向かっていくために必要なことは何か」をテーマに討議が行われております。小学校、中学校の子ども達が同じテーブルについて真剣にいじめをなくすための話し合いが行われますので、教育委員の皆さんも是非ご参加いただきたいと思っております。今回は各課からの報告はございませんのでよろしくお願いいたします。私からの報告は以上になりますが、何かご質問等ございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。それでは次に報告事項に入ります。

### ○報 告

#### 1. 成人式について （生涯学習課）

岩本教育長： 報告事項1について事務局より説明をお願いします。

<事務局より成人式の進行等について説明。>

岩本教育長： 前回の定例会で、教育委員の皆さんから新成人に対してのメッセージをお願いしました。今、1人の持ち時間が60秒という説明がありましたが、60秒というとかなり長いので、もっと短くしてもらったほうが、インパクトがあると思います。言いたいことを1行くらいで述べていただく方が5人の皆さんの思いが伝わるのではないかと思います。

何か質問等はございますか。

草間職務代理者： 最初に自己紹介をするのでしょうか。それとも紹介をしていただいてから、一人ずつメッセージを言うのでしょうか。

事務局： 岡谷市教育委員の皆様からという紹介はしますので、お名前だけ言っていただければよろしいかと思います。

岩本教育長： 主催が岡谷市と教育委員会になります。市長部局ともう一度詰めて決定という形になると思っておりますので、今日は教育委員会での案ということで、了承していただければと思います。

図書館についての報告もお願いします。

事務局： 成人式の式辞の中で、市長が必ず読書の話しをいたします。そこで、今回、図書館にも協力していただいて、成人の方向けの本を並べまして自由に持っていただこうと思います。何人いらっしゃるか分かりませんが、毎年図書館が廃棄本といって処理する本があるんですが、そういった中から良いものを並べておきまして、成人の皆さんに好きな本を手にとってお持ち帰りいただくということを、初めての試みですが、やってみようと思っております。活字離れとか言われていますが、是非本に親しむきっかけにしてもらえればと考えております。

岩本教育長： それでは、委員さん達は発表していただく内容を言葉にさせていただいて、そして、どこかで一度お集まりいただいて、調整をして本番に迎えたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

次にその他の報告ということで、事務局お願いいたします。

## その他

### 1. 第72回冬季国体アイスホッケー協議会岡谷市実施本部の組織について (冬季国体推進室)

<事務局より第72回冬季国体アイスホッケー協議会岡谷市実施本部の組織について報告。>

岩本教育長： 何か質問等はございますか。

草間職務代理者： 小中学生は大会を見る機会がありますか。

事務局： 市内の各小学校の4、5年生は平日ですけども実行委員会でバスを借りて観戦していただくように準備しているところでありますが、中学生については特にありません。また、県の実行委員会から要請がありまして、すでに完了をしておりますが、47都道府県の応援旗を、市内小学校の4、5年生にクラスごと作っていただき、会場であるアリーナの壁や手すりに飾りまして、選手達をお迎えしたいと考えております。

岩本教育長： 他に何かございますか。次に、過日子ども課との懇談をしていただきましたので、その様子についての報告していただきたいと思っております。

### 2. 教育委員会と子ども課の懇談会について

草間職務代理者： 去る12月1日(木)に子ども課から廣瀬主幹さんとこどものくにの高橋館長さん、我々教育委員と帯川課長さんと小坂課長さんに出席をしていただきまして、話し合いをいたしました。我々もいたしましても、家庭または保護者の方に力をつけていただきたいという一番の大きい思いがあり、子ども課にもそういう思いがありまして、かなり具体的に前進した取組みとございますか、深く入り込んだ取組みに子ども課も教育委員会も入っているところです。一番大事なのは親同士が子育てについて話し合う機会を設けることだということを確認しましたので、各委員さんから細かい話しをさせていただいて、報告とさせていただきます。

橋爪委員： 子ども課との懇談会をやってみて、どんな気付きがあったかということをお知らせさせていただきます。子ども課で担当されているお二人のお話を聞くと、その言葉の端々に保護者の方がこういう場を強く求めているということを感じることが出来ました。ですので、随所でこういった機会を、つまりは保護者の方達が子育てについて語り合えるような場を設けていくことが必要だなということをお知らせいただきました。

それから、その中でも仲間からヒントをもらうということが大きいということを感じさせていただきました。本当に具体的な例までお話をしてくださって、分かり易かったです。例えば、お父さんにもう少し子育てに手を貸して欲しい時にどんな風に振舞うのが賢いかとか、そういったあたりは結構皆さんが共通持っているテーマかなと思いますが、そんなところも仲間の中で出てきた材料を、自分に引き付けて取り込んでいくということが目の前で起きるそういう場なんだなということを感じました。そういったあたりは、今、「学級懇談会」の活性化ということで保護者の交流をサポートしながら、行く行くはそういった家庭教育の支援をしていこうとする私達の目指しているところと一致していて、共通点も多いなと感じました。子ども課がそんな風に取り組んでいるのを聞くとこれまで「学級懇談会」の活性化の取組みは点であるような感覚を持っていて、意見交換会の席上で太田委員さんの仰っていましたが、年代を追って繋がっていく点ではなくて線になりそうな感じというか、そんなようなところを感じさせていただきました。

あとは、「子育てママのおしゃべりサロン」は2時間ですが、そのうち、お子さんの託児の手配とかがあって正味1時間30分だというお話でしたが、それだけ時間があるとかなり話の内容が濃くなりますし、後半はテーマを設けて話し合っていると伺って、そんな風に時間があると色々なことが出来るんだなあというようなところも感じました。

また、保護者の方同士の話し合いのみに任せておくとやはり話の内容も偏った方向にいつてしまったということが実際に起きたということも伺って、やはりファシリテーターの役割は重要だなということも感じました。

貴重な情報をいただいたなと思ったのは、「乳幼児親子ふれあいの集い」への出張サービスというのでしょうか、出向いていつて「子育てママのおしゃべりサロン」を実施しておられるということをお聞きして、それも今年は募集のタイミングとかで要望が少なかったけれども、来年度は発展させていくというお話を伺ってとても参考になりました。箇条書きのような感想ですけども、そんなところです。

太田委員： まず、今回の機会をつくらせていただきありがとうございます。子ども課の「子育てママのおしゃべりサロン」という今年度から事業としてスタートされたものについて、具体的な話が聞けたことは非常に良かったと思っております。話を伺っていて、橋爪委員さんからもお話がありましたけども、岡谷の子育てをする市民の皆さんの具体的なそれぞれが抱えている課題、ニーズというものに本当にきちんと対応出来る事業という意味で非常に有意義な事業だなということをも、まず強く感じさせていただきました。その上で、私どもが今、お手伝いをさせていただいている「学級懇談会」、これも同じ様な形で現場といいますか小学校、特に1年生の保護者の皆さんのバックアップをさせていただいているんですけども、それぞれがそれぞれで意味があることをさせてもらっているということもあらためて感じております。せっかくこういうものが実際の事業であつたり実施事項としてあるので、点でいたらもったいないなあということも凄く感じさせていいただいて、これが何らかの形でコーディネイトが出来ていくようなことが今後の可能性としてあれば、或いはもしかしたらありうるのではないかなあということを感じました。それを目指していくと岡谷市教育大綱の中で非常に大きな基本的な理念として掲げさせていいただいている「学校の力」と「地域の力」と「家庭の力」を行政がしっかりとバックアップして、一人ひとりの自己の力を高めていく、その中の「家庭の力」というのは非常に重要なんですけども、なかなか具体的に何かを実施しようとするとな案外難しいというか、出来る事が有りそうで無いかあと思つていたんですけど、これが何らかの形で変形して繋がり、理想としては、時間軸でいうと生まれた0歳から少なくとも小学校1年生あたりまで繋がっていくことが出来ていくと、これは大きな可能性としてですけども、教育大綱の「家庭の力」というところの強化、向上というかそういったところに重要な役割を果たせる可能性があるのではないのかなと話し合いの中で感じさせていただきました。

高木委員： 私も話をさせていいただいて「子育てママのおしゃべりサロン」をされているのと、こちらの学級懇談会の活性化についての取り組みとやはり願いは同じであるというのを強く感じました。保護者のサポートであつたり親子関係のサポートであつたり本当に願いは同じで、そして、子ども課の皆さんも一つひとつのサロンを大事にされていて、一つひとつをどう良くしていくのかの積み重ねがとても大事なかなあということを感じました。私達も「学級懇談会」の活性化については本当に各学校で少しずつですけども、一つずつやっているということが、こうやって積み重ねていることがとても大事なんだなあということもあらためて感じましたが、これが先ほどから橋爪委員さん、太田委員さんがおっしゃっているように一つひとつの積み重ねが段々重なってきて点ではなくて線になって繋がってくると、お互いにもっと広がり出来るのかなあという風に思っています。そのためにも、今回、この懇談会をもたせていただいたのは、とても有意義だったと思うんですけども、是非これからも時に応じて、課を越えて子ども課さんともお話しをさせていただきながら、地道なことだと思つてんですけども、地道に一緒に積み重ねて行くことが出来たらいいかなあという風に思いました。

草間職務代理： 委員全員の気持ちは今出た意見と同じで0歳から連続的に子どもの成長に合わせて、育てていくというような、横の繋がりがしっかり出来てくれば、子どもを0歳からずっと年を追いつながら連続してサポートしていくことで、非常に「岡谷のひとづくり」に良い結果が出るのではない

かなということを感じました。そして、やはり託児というのが非常に大事で、お母さん達が本音になって話し合える機会を設けるといっても「子育てママのおしゃべりサロン」と「学級懇談会」がしっかりと繋がっている感じを受けました。以上でございますが、これはいわゆる意見交換会でしたので、結論は出ませんでしたけど、是非この事業を拡大といたしますか、続けていきたいという思いでは一致しておりましたので、また何らかの形でこれを繋げていきたいと思っております。

課長さん2人も出席されましたが、どうでしたか。

帯川 課長： 私も子ども課のサロンの生の話を聞くのは初めてだったのですが、やはりそれぞれの年代からライフステージに応じた保護者のサポートの支援の仕方というのは、ニーズがまた違うと思うんですね。また、そういったことを情報交換しながらそれぞれの年代にあったニーズに対応できる公共的な部分のサービスということを考えていかなければならないかなという風を感じたところです。

小坂 課長： 生涯学習の立場では2点ございまして、託児は非常に重要なポイントだと思えました。いくつかの会場で学童クラブの部屋を活用していただきまして実施したんですが、やはり親同士で向かい合いたい、兄弟、姉妹がいる保護者の方は、一人の子どもと一対一で向かい合いたいという声がありまして託児がとても大切なんだなと思えました。

それからもう1点は懇談の中で地域の方がもっと参画したり、協力してもらえないかなという話がありまして、私達のところで地域子育てサポーターという皆さんが各区にいらっしゃいますので、実は神明小学校でもサポーターの方が懇談会を見に来ていただいたり、更生保護女性会の皆さんが様子を見ていただいたりということがありますので、何かしらの形でファシリテーターでも結構ですし、託児の補助でも構いませんので、地域の方が参画するような形を作ればと思っております。カルチャーセンターの担当の方にも話をしたところです。

岩本 教育長： 今の岡谷市の小学生は2,689名。ところが0歳児は330名くらいになります。結局、小学生の1学年の児童数は、今1年生が一番少なくて405名です。460とか470くらいの学年もあるわけですが、かなり落ちてきています。本当に金の卵ということになる訳で、少子化ということもこれから加速度的に岡谷にもくるのかなという風に思います。そうすると、お母さんやお父さん達が本当に育児ということについて色々悩んだり、考えたりするようなことが多くなるということが予想されます。だからこそ、そういった0歳児から小学校、中学校までの繋がりということをお谷市全体で考えていく必要があると思っておりますので、今後さらに教育委員会と市長部局との連携を出来る限りとりながら、お互いに意見交換をして、同じことをやっていることがあると思っておりますので、そういった時には一緒になってやっていくとか、勉強するということが必要になってくると思っておりますので、総合教育会議が発足したというのはそういう目的もあって出来たのかと思っておりますので、一層市長部局と連携を強めながらいきたいと思っております。

今回は私も参加をしたかったのですが、また次の機会の時に参加をさせていただいて、現状は見えてきましたので、どういう手を打っていったらいいのかということをも具体的な方策を教育委員会の中でも論議を出来ればいいのかなと思っております。

### 3. 小井川小学校来入児「保護者交流会」について

橋爪 委員： 先月の定例会で11月11日（金）に小井川小学校で来入児の保護者を対象に実施する予定になっておりますということでお話をさせていただきましたが、無事に実施に漕ぎ着けて、今日はその報告をさせていただきます。

<橋爪委員より別紙資料にて小井川小学校来入児「保護者交流会」について報告。>

橋爪 委員： 高木委員さんからも補足があればお願いします。

高木 委員： 繰り返しなってしまいますが、三々五々保護者の方が集まってくるという状況でどのくらいのことが出来るのかちょっと不安もあったんですけど、実際には保護者の方が非常に和まれて自己紹介できるような場面があったりして、短時間であってもこういう機会を捉えてそういう場を設けていくことがこれからは大切なのかなということを感じました。ただ、外部から行ったものがファシリテーターをしているということで、本当でしたら学校の先生方が保護者の方の様子を見ていただきながらファシリテートをしていただくことが一番理想かと思うんですけども、今回も

先生方は健康診断の補助ということで、ほとんどの時間はそちらに取られてしまっていたので、現場の先生方が直接保護者の方と関わっていけるような方向が望ましいのではないかなと感じました。

橋爪委員： また、1回会を重ねることが出来ましたというご報告です。実は、来年度のことを考え始めていて、今年度をやってみてなんですが、どちらかというと場当たりに学校の希望があれば慌てて準備をするという風な、ちょっと計画性に欠ける面があったのかなというところが反省点であるので、出来れば来年度は事前にいつの時期に誰対象でやるのかというところをあらかじめご要望をいただいておりますという風に出来たらいいかなあと考えていて、それにはご案内をしなければいけないし、そのあたりどうしたものかというところで、もしかしたらこの12月という時期は準備するのに適切な時期なのかなと思ひまして、ご相談したい気持ちがあります。

高木委員： 2年間で色々な場面で実施してきて、この場面なら出来そうだとすることが、ある程度分かってきたので、そういう面で提示していくには、この機会はどうですかとお示しできるのではないかなと思ひます。

橋爪委員： 近いうちにPTAの会長さん達が集まる会合はありますか。

事務局： 年明けになるそうです。

橋爪委員： そのような機会に少しご紹介させていただいたり、後は学校の方にもこんなことをやっていますというお知らせをした方がいいでしょうか。

岩本教育長： 明日、校長会があるので小井川の校長先生に了解をいただいて、ちょっと報告をしていただくということと、それから来年のたぶん1月から2月の中旬にかけて年間暦を作成します。各学校の行事等をそれに入れていきますので、それに出来る限り入れてもらえるような形で進めていけば、計画的な運営が出来るのではないかなと思ひます。

それからもう一つは、各学校で今までの取り組みを参考にさせていただいて、例えば、これから1月から2月にかけて1日入学というようなことがあったり、校長講話等もありますので、そんな時に保護者同士の交流を深めていただくように、アイスブレイクのこんなやり方をすると良いという例を簡単に紹介していただくようなものを、各学校に配布してさせていただいて、そうすれば学校の先生達もこれだったら私出来ると思う方が沢山いると思ひますので、それを活用していただいて、そして、交流を深めていただく。そうすると皆さんが願っているようなことが今年度中からも可能ではないかなと思ひますので、そんな点を進めていただければいいのかなと思ひます。

橋爪委員： 託児をするとなると、お金のことも絡んできます。そこら辺もPTAの会費から充てていただいているという実例がありましたので、PTAの会長さん達の会合でご相談していけばいいというように考えればよろしいですか。

岩本教育長： そうですね。今年中に来年度の予算を教頭先生と一緒にたてると思ひますので、早めにそういうことを知っていただければ、とりわけ1年生の時にしっかり仲良くなっておけば6年間いい状態で上がっていただけますので、PTAの方でも賛成をしていただけるのではないかなと思ひます。

橋爪委員： 分かりました。

岩本教育長： 本当に実践が着実に効果を上げてきているというのは有難く思ひますのでよろしく願ひいたします。

それでは、先に進みたいと思ひます。行事等について事務局より願ひします。

・行事等について（各課）

<各課より行事予定について説明>

・その他

<次回開催日の調整>

岩本教育長： それでは以上をもちまして、12月の定例教育委員会を終了とします。

終了15時10分

岡谷市教育委員会会議規則第23条により署名する。

平成29年1月6日

教 育 長

岩本博行

署 名 委 員

草間吉幸

署 名 委 員

橋爪園美

調 製 職 員

吉澤洋人

小井川小学校来入児「保護者交流会」のまとめ

対象：小井川小学校来入児保護者

目的：保護者同士、仲良くなる

日時：平成 28 年 11 月 11 日（金曜日）（13 時 45 分～）13：50～14：20（15 分～35 分）

※来入児は、保護者同伴で健康診断を受けた後、保護者と別れて別室にて知能検査。

保護者は、健康診断が終わった人から視聴覚室に移動し、保護者交流会を実施。

（保護者交流会のあとは、校長講和や学校からの連絡等、保護者会を実施）

場所：視聴覚室

ファシリテーター：橋爪園美（教育委員）、高木千奈美（教育委員）

参加者数：42 人（欠席なし）

ファシリテーション内容：「その色ゲーム」「小井川小クイズ」「グループで自己紹介」「みんなで輪」

託児：対応なし（当日、幼児を同伴した保護者はなかった）

振り返り：

- ・短時間ではあったが、できることはあったと感じている。限られた時間の中で密度の濃い取り組みを少しずつ重ねていくと良いと思う。
- ・例年、保護者会開始まで自由に待機している場面を、あえて交流の場とできて良かった。
- ・三々五々集まってくる入室時の場面で、もう少し丁寧にこの取り組みの案内ができるとうよかった。
- ・自己紹介場面で、話す内容の掲示があったおかげで話し易く、笑い声も聞かれ、和んだ様子が見てとれた。
- ・小井川小クイズは、1 年生に関わる出題の部分がとくに良かった。ちょっと難しい、知っていそうで知らない問題は、グループ内で会話も生じて有効だった。
- ・最後に全員で手をつないで輪を作り、一体感を演出できたことは意味があったと思う。
- ・終了後、別室に子どもを迎えにきた時の保護者同士の和やかな様子や表情からも、保護者の緊張や構えた気持ちがほぐれた雰囲気を感じ取れた。
- ・「保護者交流会」を実施したあとのためか、保護者会の開始がスムーズだった。
- ・参観日の学級懇談会で、学級担任がグループワークを取り入れてみるという発展があった。
- ・参観日の懇談会の参加者も減少傾向、行事への参加も役員が主体、来校日を増やすことにも抵抗があるという現状において、保護者が確実に全員集まる機会は非常に限られるので、その貴重な機会を利用して保護者の関係作りをサポートすることはたいへん有意義である。

課題：

- ・「保護者交流会」についての案内は、家庭向けの通知に 1 文記すのが最も自然な方法と思われる。
- ・ファシリテーション内容の細かな部分に改善の余地がある（より有効なアイスブレイク、小井川小クイズのバージョンアップ、より会話を促進できるような時間配分等）。
- ・地域の方（PTA も）の協力も得られると良いが、今回は協力いただける方が（教頭先生が何人か打診したが）見つからなかった。（内容の周知や募集のことを考えると）安定的な実施のためには、教師がやれるような環境づくりをしていく方向が良いのではないかと（現状では困難）。環境づくりの一例としては、健康診断は保健センターで実施する（学校は保護者会を実施する）等の案がある。

今後の展望：

- ・来年度も同様に 11 月の来入児健康診断の機会を利用して保護者交流会を実施する方向（ただし、託児はひとまず対応なしの予定）。